カリキュラムマップ (情報学専攻 博士後期課程)

○ : DPと最も関連がある科目(一つのみ)● : DPと関連がある科目

						1 ;	———— 単位数	知識・理解			思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現			
	科目区分						单位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13
NO		科目ナンバー		配当年前次	前・後期の別	: 	選択自由	情報工学及び関連分野の必要な 情報を入手し、 精査のうえを 選択して、獲得 した知識や専門	高度な専門知識を系統的に理例し、必要なICTツールを効率的に利用して、総密で正確な自己	は 情報工学分野と同 に は は は は は は は は は は た に を を を れ を を れ を れ を れ を れ を れ を れ を れ	課題の因果関係 を理解し、本質 を見抜くことが できる。	実行結果を客観 的に評価し、計 画を見直し次期 計画に反映する ことができる。	然科学に関して 広い知識を有し、その内容を 理解の上、情報	専門のもなるなでのもも着技術のもも着技術では、 できるののでは、 できるが、 できんが、 できんがいが、 できんがいが、 できんが、 できんが、 できんが、 できんが、 できんが、 できんが、 できんが、 できんが、 できんが、 できんが	目的と目標を設 定し、順序立て て計画し、実践 することができ る。	自己研鑽のため に普段から目標 を設定してその 達成の道筋をる て、 とができる。	知にとち着なとのを責と的呼にそを想で、守をは外をか斬る。法社する連、たるをがのもし果さで、守をでがある。法社する。	複雑な事象を整 理し、構造化で きる。	自分の意見を記 理的に構築し 開することがで きる。	点
	講義科目																			
1		7001	コンピュータアーキテクチャ特論Ⅱ	1	前期		2	0			•		•					•	•	•
2		7002	コンピュータアーキテクチャ演習Ⅱ	1	前期		1								•			•		0
3		7003	組合せデザイン論Ⅱ	1	前期		2						0	•						
4		7004	組合せデザイン論演習 Ⅱ	1	前期		1						0	•						
5		7005	計算言語学Ⅱ	1	後期		2	0	•	•	•	•	•	•	•					
6		7006	計算言語学演習 Ⅱ	1	後期		1	•	0	•	•	•	•	•	•					
7		7007	ヒューマンコンピュータインタラクションⅡ	1	半期(集中))	2				•		•	0			•			
8		7008	ヒューマンコンピュータインタラクション演習Ⅱ	1	半期(集中))	1				•			0						
9		7011	知能メディア処理特論Ⅱ	1	半期(集中))	2	•	•	•	0	•	•		•			•		
10		7012	知能メディア処理演習Ⅱ	1	半期(集中))	1				•	0	•	•	•			•		
11		7013	情報教育システム特論	1	半期(集中))	2						0	•						
12		7014	情報教育システム演習	1	半期(集中))	1						0							
13		7015	イメージ情報学特論Ⅱ	1	半期(集中))	2						0							
14		7016	イメージ情報学演習Ⅱ	1	半期(集中))	1						0							
15		7017	情報システム設計論Ⅱ	1	前期		2	0		•	•				•					
16		7018	情報システム設計演習Ⅱ	1	前期		1				•				•			•		0
17		7019	データ解析特論Ⅱ	1	半期(集中))	2				•		0		•			•		
18		7020	データ解析演習 Ⅱ	1	半期(集中))	1			•	•		0	•	•			•		
19		7021	情報ネットワーク特論Ⅱ	1	前期		2	0							•					
20		7022	情報ネットワーク演習Ⅱ	1	前期		1	•	•		•				•				•	0
	論文指導科目																			
21		7101	情報学特別輪講Ⅱ	1	通年	2											0		0	
22		7102	情報学特別演習Ⅱ	2	通年	4										0		0		
23		7103	情報学特別実験Ⅱ	3	通年	6									0					
			計			12	33 0													

情報学専攻 博士後期課程 カリキュラムツリー

作	致:	学専攻 博士	後期課程の力	リリキュフム)	ソリー									
		知識	・理解		思考・判断	_	関心・意欲			態度				
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13
学生	丰 斯	情報な、捨得門けとがいる。	情報学院をしかいるでは、 情報のでは、 学問のでは、 学問のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	情報工学分野に おける現状と明 標を把握から、解 決すがき課題を 発見する。	課題の因果関係 を理解し、本質 を見抜くことが できる。	実行結果を客観 的に評価し、計 画を見直し次期 計画に反映する ことができる。	その内容を理解 の上、情報工学	専門内外のもち着をのようでは、 中間では、 のもちのでは、 のものが、 ののものが、 ののものが、 ののものが、 ののものが、 ののものが、 ののものが、 ののものが、 ののものが、 ののものが、 ののものが、 ののものが、 ののものが、 ののものが、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、	目的と目標を設 定し、順序立て て計画し、実践 することができ る。	自己研鑽のため に普段から目標 を設定してその 達成の道まるこ とができる。		複雑な事象を整理し、構造化できる。	自分の意見を論 理的に構築し展 開することがで きる。	広く深い知識と 経験をもとに、 ICTを適切に用い て、精確に作業 を進め、情報工 学を実践するこ とができる。
3	後前								情報学特別実験Ⅱ					
	+													1
2												情報学特別演習 II		
	前	Ī												
											情報学特別輪講Ⅱ			
	後	2										1		
		計算言語学Ⅱ	計算言語学演習Ⅱ											
1	前	情報システム設計 論 コンピュータアー キテクチャ特論		情報ネットワーク 特論 II	知能メディア 処理特論 II	知能メディア 処理演習 II	データ解析演習 II データ解析特論 II イメージ情報学演習 II イメージ情報学特論 II 情報教育システム演習	ヒューマンコン ピュータインタラ クションII ヒューマンコン ピュータインタラ クション演習 II						情報システム設計 演習 II コンピュータアー キテクチャ演習 II 情報ネットワーク 演習 II
							情報教育 システム特論 組合せ デザイン論 II 組合せ デザイン論演習 II							

必修科目